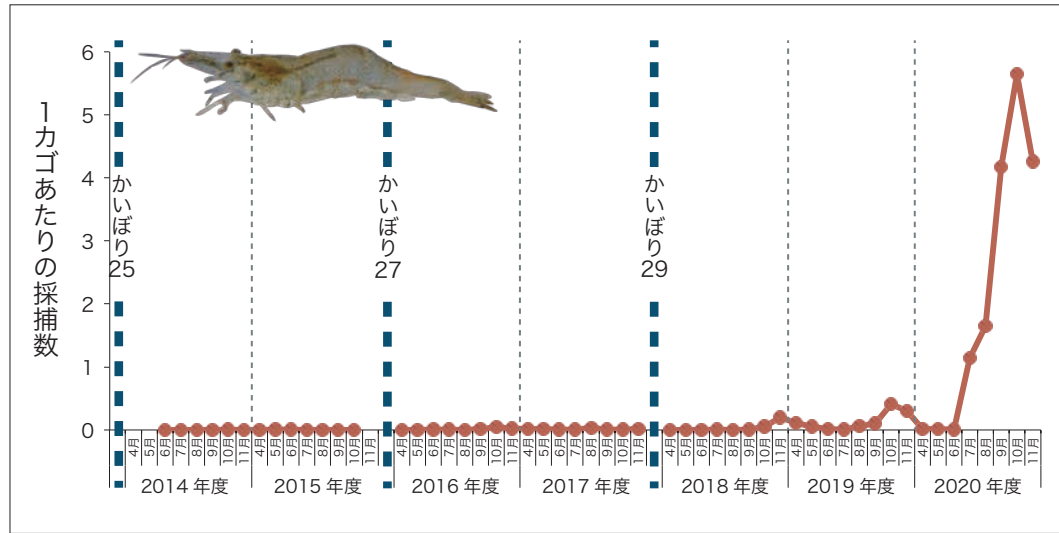


外来種に増加の兆し
 外来種は、2014年には11種が確認されていたが、防除活動を行ったことよって4種に減少している。近年は張網1網あたりの採捕数が低く推移しているが、2019年からは増加の兆しもある。
 直近5年間のアメリカザリガニ防除用カゴワナによる採捕結果を図3に示した。1カゴあたりの採捕数が再び増加している。防除方法を適宜修正しながら対策を継続していく必要がある。

図2. カゴワナによるヌカエビの1カゴあたりの採捕数の推移

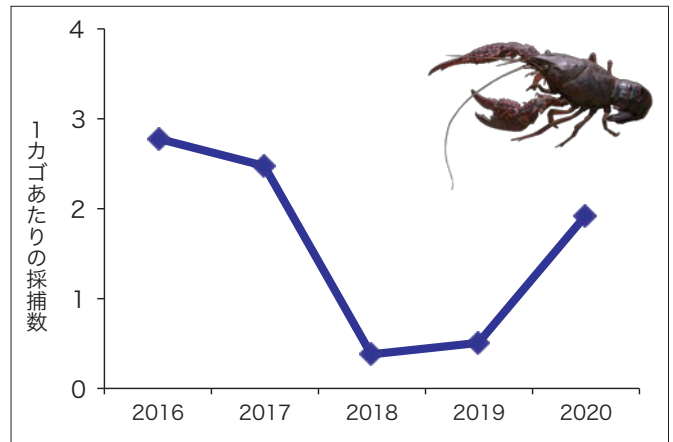


いけいけ！かいぼり隊
 ～ちびつとかいぼり隊で泥水対策！の巻～

雨が強く降ると、井の頭池に泥水が流れ込んで池が濁る。こうした泥水の流入を防ぐ作業も、かいぼり隊の活動のひとつだ。こうした作業を来園者と一緒に行う「ちびつとかいぼり隊」を今年度も開催した。今回の主な作業は浸透地の泥上げだ。浸透地は、園路を流れる泥水が集まってくる位置に整備された窪地で、泥を沈殿させ、水は地中に染みこませる。浸透地の効果を発揮させるためには、ときどき手入れをして泥を取り出す必要がある。

かいぼり隊から作業の説明を受けながら、初めて参加した人たちも、汗を流しながら一生懸命に泥を掘っていた。子どもたちは元気いっぱいだ。土を掘ったり運んだりするのが楽しいのか、疲れも忘れて作業に打ち込んだ。こうして一年分の堆積土を取り除くことができた。池をきれいに保つ取組への理解も深まり、充実した作業イベントになった。

図3. アメリカザリガニの1カゴあたりの採捕数の推移



今号のイチオシ！ **自然情報**



浅場で産卵！アスマヒキガエル

2月～3月頃、井の頭池の浅場にやってきて産卵し、再び林へ帰っていきます。4月には幼生（オタマジャクシ）が見られるかも！



(左) 浸透地の泥上げ (右) 泥水が流れ込む様子

井の頭池 **ウオウキコウ**
動画配信のお知らせ

緊急事態宣言発出にともない、新型コロナウイルス感染防止の観点から現地開催を取りやめ、動画でご案内します。



井の頭恩賜公園公式ホームページから見られます

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/jimusho/seibuk/inokashira/index.html>

井の頭恩賜公園 公式